

よかところ通信



2005年11月号

オーツーフーム 大津勵志+耕太&愛梨
〒869-1501 熊本県阿蘇郡南阿蘇村両併 589
Tel&Fax : 0967-62-3730
E-mail: o2farm@aso.ne.jp
O2FarmWeb : www.aso.ne.jp/reisi

トピックス

- 3びきの子牛の行方

- ぼちぼち農閑期に入ります。
- コウタ、イテテ...

ふと気づけば今年もあと2ヶ月！早いものですね。皆様、いかがおすごしでしょうか。稲刈り後にも色々が続いていた農作業にもだいぶケリがついてきて、気分的にもゆっくりしてきました。こうなると不思議なもので、夏場は毎日6時に起きていたものが、どんなに頑張っても6時には目が覚めないようになってきます。人間の体って不思議！？

2カ月おきに開催される牛の子市で、3頭の子牛を出荷しました。今回出荷したのはオス2頭とメス1頭。生後8~10ヶ月の子牛で、オスは生後6ヶ月頃去勢してあります。去勢したオス(つまりニューハーフ!)は肉質が柔らかい上に体が大きいため、メスよりも高く売れます。昔は牛の市となると3日も続き、出店も色々あったそうですが、最近では1頭あたりのセリ時間が電光掲示板などの導入で短くなったことと、牛の数自体も減ったことで、セリは1日だけ。出店もありません。あか牛は阿蘇の特産です。緑の草原に悠々と歩くあか牛の姿は本当に絵になる景色。サシが少ないとはいえ、言い換えれば健康ビーフ。もっと需要が増えればいいのに、と思っています。



熱気ムンムン。セリ会場。

さて、ウチの場合農閑期に入ると急いで冬支度をはじめます。何しろ古い家に住んでいますので、隙間風がすごく、夏は最高ですが、冬の寒さは予想以上。関東から九州に嫁いできた私にとって、阿蘇の寒さはまったくの想定外。越してきたばかりのときは「冬になったら逃げ出すパイ」と周囲の人が心配していたそうです。近くに温泉がなければ、本当に逃げ出していたかもしれません! ?少しでも冬場をしのぎやすくするためには、何といたってもまずは「隙間ふさぎ」。隙間が減ってこそ初めて暖房が効くというもの。耕太は農作業が一段落すると大工さんに早変わり。ところが! お米の検査を受けるために、お米(1俵=30kg)を運んだ際、耕太がぎっくり腰になってしまいました。起き上げられるようにはなりませんが、大工仕事に復帰するまでにはもうしばらくかかりそうです...。やはり健康第一。皆様はくれぐれもお体に気をつけてくださいな!



(秋の米塚【こめづか】)